

滝小だより



11月

2025年(令和7年)

『ひびきあう ことば・こころ・こうどう』

○ことば：「よく考える子」

○こころ：「思いやりのある子」

○こうどう：「ねばり強い子」



児童一人ひとりが主役になった運動会 滝小最高！

さわやかな秋晴れの空のもと、「全力出し切れ みんなが主役」を合言葉に、運動会を開催いたしました。当日は、保護者の皆様の温かいご声援と拍手が子どもたちの大きな力となり、文字通り“みんなが主役”になれた運動会になったと思っております。来賓の皆様からも、全力で取り組む子どもたちの姿に感動したとお声を多数いただきました。「子どもたち中心の運動会になっていた」「準備にあたる児童がきびきびして、観ていて本当に楽しかった」「競技中も待機中も応援席でも、いつも整然としていながら楽しそうに過ごす様子がすばらしい」などのご感想は、私たち教職員がめざしている姿そのものであり、大変うれしく思っております。また、「いっぱい元気をもらいました」とのお言葉は、何よりの励みとなりました。2年目となる「児童による英語アナウンス」にも、多くの反響がありました。さらに、運営や進行についても、「進行がスムーズ」「競技がテンポよく進み、観ていても間が空かずとてもよい」「午前中の半日開催がちょうどよい」「単なる時間短縮ではなく、質的にも工夫が感じられた」などのご意見を頂戴し、準備を進めてきた甲斐があったと感じております。

高学年による「滝小ソーラン2025」には、「迫力満点！」など、多くの称賛が寄せられました。練習の成果を存分に発揮した、圧巻の演技でした。

中学年による表現「☆私たちの全力☆一つになって～♪」では、3・4年生全員が協力して一つの作品を作り上げ、「やり遂げた達成感」と「仲間との団結力」が光りました。

低学年による「ケチャマヨデカパン」は、とてもかわいらしく、観ていて楽しい演目でした。「ぜひ来年も！」という声も多く寄せられました。

この運動会で得た「努力したことによる自信」と「協力することの大切さ」を、子どもたちのさらなる成長につなげていきたいと思います。今後とも、本校の教育活動に変わらぬご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

児童支援担当教諭より

運動会では、日頃の練習の成果を披露する子どもたちへのあたたかい声援ありがとうございました。本番に向けていろいろなことを乗り越えてきた子どもたちの姿を見て、私も頼もしく感じました。少し落ち着いて学校生活を過ごせる時期になると思います。引き続き子どもたちの様子をみながら、学期末に向けてサポートしていきます。



学校評価中間結果について

A: そう思う B: だいたいそう思う (%)
C: あまりそう思わない D: そう思わない

		A	B	C	D
児童用	1 学校教育目標(よく考える子・思いやりのある子・ねばり強い子)をいつも意識している。	33	50	13	4
	2 勉強でも生活でも、自分で考えて行動している。	41	48	10	2
	3 誰にでも優しく、思いやりの気持ちを持って行動している。	40	47	10	2
	4 何ごとにもねばり強く取り組んでいる。	44	40	13	2
	5 笑顔で過ごすことができている。	59	28	9	4
	6 友だちや先生、家や地域の人にできる限りあいさつをしている。	57	31	9	3
	7 学校での学習に楽しく取り組むことができている。	53	35	10	2
	8 学習の内容をだいたい理解できている。	44	45	8	2
	9 学校のきまりをみんなが守って、仲よく楽しく生活できている。	37	47	11	5
	10 何でも話したり、困った時に話を聞いてくれる友だちがいる。	65	24	9	2
	11 学校に、困ったことを相談することができる先生がいる。	50	31	13	7
	12 学校での出来事を家族によく話している。	57	24	12	7

保護者用	1	学校は教育目標や方針、子どもの様子などをわかりやすく保護者に伝えている。	38	56	5	1
	2	子どもは、いろいろな場面でよく考えて行動することができている。	31	55	14	0
	3	子どもは、誰にでも優しく、思いやりの気持ちをもって行動している。	40	54	6	0
	4	子どもは、何ごとにもねばり強く取り組むことができている。	26	51	22	1
	5	子どもは、楽しく学校に通っている。	61	32	7	0
	6	子どもは、進んであいさつをしている。	27	52	21	0
	7	学校は、子どもが主体的に学ぶ授業づくりに努めている。	34	57	8	1
	8	子どもの学習状況を把握している。	35	48	15	2
	9	学校は、子どもの防犯・安全のための取り組みをしっかりと行っている。	30	56	11	3
	10	子どもは、教職員に話をよく聞いてもらっている。	27	58	15	0
	11	学校は、保護者や子どもが困ったことや悩みを相談しやすくなっている。	23	54	16	7
	12	子どもから学校の様子を聞いている。	50	40	9	1

教職員用	1	学校は、学校教育目標を意識しPDCAサイクルで教育活動に組織的に取り組んでいる。	15	80	5	0
	2	児童は、学習や生活の場面で、自分で考えて行動することができている。	5	60	35	0
	3	児童は、互いに認め合い、思いやりのある行動をすることができている。	15	75	10	0
	4	児童は、何事にもねばり強く取り組むことができている。	5	65	30	0
	5	月毎の校内研究を自身の授業力向上に生かしている。	5	74	21	0
	6	学校は、教師が健康でいられるような体制づくりに努めている。	10	70	20	0
	7	学校は、学級経営や学習指導がしやすい設備を整えている。	5	80	10	5
	8	学校は、児童支援・指導について学年や児童支援担当、管理職に相談できる体制が出来ている。	35	65	0	0
	9	学校は、児童や保護者が悩み事を相談しやすい環境をつくっている。	16	79	5	0
	10	学校は、子どもの防犯・安全のための取り組みをしっかりと行っている。	15	75	10	0
	11	学校は、家庭との連携に努めている。	30	65	5	0
	12	学校は、全職員間で同僚性が発揮されている。	50	50	0	0

先月号の「自由記述欄」のご意見紹介に続き、今月号では「評価欄」の分析結果についてご報告いたします。今回は特に、児童・保護者・教職員の三者間で認識が一致していた点と、逆に差（ギャップ）が大きかった点に焦点を当ててお知らせします。

嬉しい成果：三者の認識が一致した点 「学校が楽しい」「笑顔で過ごせている」という項目では、児童・保護者の皆様から高い評価をいただきました。多くのお子さんが安心して学校生活を送れている様子がうかがえ、教職員一同、心よりありがたく思っております。また、「学校の教育目標や方針が保護者へよく伝わっているか」「家庭内で学校の様子が共有されているか」といった項目でも良い結果をいただきました。学校とご家庭との間で、日頃からお子さんの様子や学校の考えを共有できていること、大変心強く感じております。

課題：「相談のしやすさ」に関する認識のギャップ 一方、「（悩みや困りごとなどの）相談のしやすさ」については、三者間で大きな認識のギャップがあることが分かりました。教職員が「相談しやすい環境を整備している」と95%が回答していることに対し、児童・保護者は「相談しにくい・できる人がいない」と約20%が回答しています。教職員の多くは「環境を整えている」と自負しておりますが、児童や保護者の皆様の中には「相談しにくい」と感じていらっしゃるという事実を、私たちは重く受け止めております。「相談しよう」と思ったときに、ためらってしまう心理的な壁があるのだとすれば、それが何なのか、原因をしっかりと究明し、改善を図ってまいりたいと考えております。つきましては、「どのような点が相談しにくいと感じるか」「どうすればもっと気軽に声をかけられるか」など、具体的なご意見やご提案がございましたら、些細なことでも結構ですので、ぜひお寄せいただけますと幸いです。今後とも、お子さん一人ひとりが安心して学べる学校づくりに向け、ご家庭と連携して取り組んでまいります。

12月の主な行事（変更することもあります） ★マークは、4時間授業（給食後下校）の日です。

1日（月）★防犯訓練 2日（火）6年地産地消イベント中間発表・シンポジウム 3日（水）クラブ活動 4日（木）★
5日（金）★ 9日（火）★ 10日（水）委員会活動 11日（木）★個人面談① 12日（金）★個人面談②
16日（火）★個人面談③ 17日（水）★個人面談④ 18日（木）★個人面談⑤ 22日（月）給食終了
23日（火）3時間授業 24日（水）終業式、3時間授業 25日（木）～1月7日（水）冬季休業 8日（木）始業式